

第3回日進市史編さん委員会 議事録

日 時 平成23年11月9日(水)午後3時～午後4時5分
 場 所 日進市役所南庁舎 第5会議室
 出 席 者 萩野幸三市長、堀之内秀紀副市長、山田誠子教育長、山田美代子委員、
 宮澤明倫委員、赤羽一郎委員、山本文次委員、市川義行委員、林董一委員、
 浅井常典委員、渡辺仁委員、浅井金敏委員
 欠 席 者 塚本寛委員、伊東利委員、田中八隆委員、青山雅道委員
 事 務 局 鈴木教育部次長兼生涯学習課長、長谷川主幹、檜垣課長補佐、菅原主事
 議 題 (1)市史編さんの進捗状況について
 (2)自然編及び民俗編の執筆要領(案)について
 (3)今後の計画等について
 (4)その他

発 言 者	発 言 内 容
事務局	本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。只今から、第3回市史編さん委員会を開催いたします。最初に会長であります、萩野市長より挨拶を申し上げます。
会長	本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。本市では、市制20周年を迎える平成26年度に、日進市史の自然編と民俗編の完成を目指しており、平成22年度から部会の委員の方々による本格的に調査を開始していただいておりますが、自然調査あるいは、地域での聞き取り調査ではいろいろとご苦勞をおかけしていることを感謝申し上げます。その成果が市民にとって喜ばれる市史の完成という形になれば大変有難いと思います。 本日は、委員の皆様積極的にご意見・ご指導をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願いしたい。
事務局	今年度新たに市史編さん委員をお引き受けいただきました委員のご紹介をさせていただきます。 市川義行日進市区長会副会長様、伊東利あいち尾東農業協同組合総括理事様、堀之内秀紀副市長、浅井金敏総務部長 以上の方々でございます。任期につきましては、前任者の残任期間である平成24年1月27日までとなりますのでご了解いただきますようお願いいたします。
事務局	議題に入る前に資料2ページ「市史編さん組織体制」について簡単にご説明いたします。市史編さんに関する基本方針に関する事、刊行計画に関する事などの重要事項を検討・審議する委員会として本日開催している編さん委員会を組織しております。また、自然部会と民俗部会の2つの専門部会を設置しており、実際の調査・資料整理・執筆を行っていただきます。次に、監修者と各部会の部会長及び副部会長により構成されている編集委員会を置いており、各専門部会間の調整等を行っていただいております。 なお、編集委員会、各部会の委員名簿を添付させていただきました。これらの委員会が連携・協力して市史刊行の目的を果たしていくこととなります。
事務局	それでは、議題(1)市史編さんの進捗状況について事務局より説明させていただきます。
事務局	【市史編さんの進捗状況について説明】(資料1) プロジェクターを使用しての説明。

事務局	ただいま各部会の調査内容や成果等も含め、市史編さんの進捗状況についてご説明いたしました。ご意見ご質問あるいは説明への補足等はございませんか。
委員	自然部会で魚類等を担当しているが、イモリ、シマドジョウが見つからない。以前から市内に生息していたはずだが、現在はいなくなったのか不明である。また、コウライモロコを最近よく見かけるが、昔はいなかったと思う。自然編の編集方針としては調査期間中に確認できたものを記録していくということなので、できるだけ多くの種を確認できるよう地道に調査を行っているところです。
事務局	大変な作業だと思いますが今後もよろしくお願いします。 他にご意見等はございませんか。
委員	キノコの調査を行っているが、昨年・今年とも秋のキノコが極端に少ない。天候のせいだと思われる。本日までのところ 370 種のキノコが確認できたが、今後 400 種を越すと考えている。秋のキノコが順調に出ることを期待している。また、キノコの標本を作成しており、現在までのところ標本箱（大型）に 5 箱完成している。
事務局	ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。 他にご意見、ご質問のある方はいらっしゃいませんか。 ご意見、ご質問もないようですので、今後も同様に調査等を進めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
事務局	次に、議題(2)自然編執筆要領(案)及び民俗編執筆要領(案)について事務局よりご説明いたします。
事務局	【自然編及び民俗編の執筆要領(案)について説明】(資料 2)(資料 3)
事務局	ただいまご説明いたしました自然編及び民俗編の巻構成(案)について、ご意見ご質問のある方はいらっしゃいませんか。 本日、豊明市史自然編、名古屋市史民俗編などの現物を準備しており、回覧いたしますので参考にいただければと思います。
委員	民俗編の口絵と本文の割合はどのようになる予定か。
事務局	現在のところ、口絵以外の部分が大半を占めると考えております。口絵は 8 ページあるいは 16 ページとなると考えており、全体に占める口絵の割合は少ないと見積もっております。
委員	できるだけ写真が多い方が分かりやすいと思います。
事務局	印刷費の関係もありますが、民俗編の場合、古い写真を数多く収集しており、そのほとんどは白黒写真ですので、本文をカラーにする必要がないということがあります。カラーで見たい写真はできるだけ口絵部分に掲載したいと考えております。
委員	自然部会としては、自然編の目録に関して、調査し現時点で確認できたものについてはすべて載せたいと考えている。担当しているのはトンボが中心だが、依然によく見かけたカトリヤンマやミルンヤンマが確認できていない。また、貝類、甲殻類も担当しているが、このたび市民の方からの情報提供によってサワガニを確認する事ができて大変有難く思っている。今後も市民の皆様からの情報提供をお願いし、分かりやすく充実した内容にしていきたい。

事務局	ありがとうございます。 他に、ご質問等はございませんか。
委員	民俗編執筆要領にオールカラーとあるがどういうことか。自然編はオールカラーが適当と思うが、民俗編はオールカラーである必要はないと思う。
事務局	民俗編の執筆要領の「オールカラー」とあるのは口絵部分のみで、本文はモノクロと考えております。従って、口絵については「オールカラー」ではなく「カラー」という表現に修正させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
委員	了解しました。
事務局	他にご意見、ご質問のある方はいらっしゃいませんか。 議題(2)自然編執筆要領及び民俗編執筆要領につきまして、若干表現の修正がございましたが、この方向で進めていくということをご承認いただけますでしょうか。
各委員	意義なし
事務局	ありがとうございます。 次に、議題(3)今後の計画について事務局よりご説明いたします。
事務局	【自然編及び民俗編発刊スケジュール(案)について説明】(資料4)
事務局	ただいまのご説明いたしました自然編及び民俗編発刊スケジュール(案)については、実際は多少時期が前後するということもあろうかと思いますが、概ねこのようなスケジュールで進めたいということがございます。 ご意見ご質問のある方はいらっしゃいませんか。
委員	このスケジュールによりますと、自然編と民俗編が2巻ともそろって平成27年3月に刊行することになっております。両方を平行して印刷を行うのか。
事務局	現在のところそのように考えております。
委員	それぞれの部会はそれでも問題ないと思うが、同時に2冊の印刷業務を進めるのは、事務局が大変である。現在の事務局体制ではとても無理だと思われる。自然編または民俗編のいずれかを先行して印刷業務を進め、発行を同時に行うという形を取るようにはいかがか。そのための対応策を工夫する必要がある。
事務局	各部会及び編集委員会などで、スケジュールの調整ができるかどうか検討させていただきます。
委員	是非そのようにしていただきたい。
事務局	他にご意見、ご質問のある方はいらっしゃいませんか。 議題(3)今後の計画については、印刷業務のスケジュール部分で若干の調整が必要ではないかとのご意見をいただきましたので、課題もございますが、概ねこの発刊スケジュールに沿って、進めていくということをご承認いただけますでしょうか。
各委員	異議なし
事務局	ありがとうございます。 次に、議題(4)その他について事務局よりご報告がございますので、担当より説明させていただきます。

事務局	<p>【第 2 回市史編さん委員会で提案をいただいた、地名・方言・音の文化史の取扱いについて報告（参考資料）】</p> <p>この件について、平成 23 年 1 月と平成 23 年 8 月の編集委員会で 2 回に亘り協議を行った。その結果、次のとおりとなりましたので報告します。</p> <p>地名・方言については、これを民俗編に収録すると仮定すると、地名及び方言の専門家に依頼し、別途各地区におじゃまして地名の由来や一つの言葉に対する言い回しの違いなど、聞き取り調査を実施していくことになる。今回の民俗編の中に入れるのは時間的に難しい。また、特に方言は現在の一般的な考え方としては、民俗学ではなく言語学の範疇であるとの見方が主流となっており、近年の民俗編では方言を取り扱わないものが多い。現在のところ地名については『日進の地名』が、また方言については『岩崎誌』の中にも記載があり、何もない訳ではないと考える。</p> <p>次に音の文化史については、生活の中の様々な音を記録するということが、実施する場合、専用の録音機器を所有している専門の業者に委託することになり、まとまった予算が必要である。これを実施することは市史編さん計画から外れると考えられるので、今回の市史編さん計画とは別に、計画を作成・実施することが望ましいのではないかと。</p> <p>以上のような結果となりました。事務局としましても、参考資料のとおり自然編・民俗編とも前回お示しした巻構成で進めていくのが時間的にぎりぎりであると考えており、当初の計画どおり進めていくということで、ご了解いただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>ただいまのご説明いたしました件について、ご意見ご質問のある方はいらっしゃいませんか。</p> <p>特にご意見等ないようですので、地名・方言及び音の文化史については今回の市史では扱わないということで進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>全体をとおしてご質問等はございませんか。</p> <p>それでは、これで本日予定させていただきました、議題につきましては、全て終了しました。貴重なご意見等をいただきありがとうございました。これで議事を終了させていただきます。</p>
事務局	<p>本日は、長時間に亘り委員の皆様から貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。今後とも市史編さん事業へのご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。なお、現在の編さん委員会委員の皆様は、平成 24 年 1 月 27 日を持ちまして満了いたします。2 年間ご指導いただき誠にありがとうございました。</p> <p>しかしながら、市史編さん事業はまだ終了しておりませんので、引続きここにお集まりの方々に、市史編さん委員をお引き受けいただきたいと存じます。事情により来年度以降委員をお引き受けいただけない場合は、事務局までお知らせいただきますようお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
	<p>(午後 4 時 5 分 閉会)</p>